

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	宮崎県延岡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	延岡市文化遺産を活かした文化力・市民力・地域力活性化計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>《計画の指針》</p> <p>本市は、平成19年3月の1市3町の合併以降、東九州自動車道の開通に伴う本格的な高速道路時代に突入し、ますます激化する地域間競争を勝ち抜きながら新たなステージへと展開していく必要があります。本市の地域の特性や資源を最大限生かしていくとともに、市民と行政が協働・連携し様々な課題克服の方策を検討し「延岡新時代」に相応しい魅力的なまちづくりが求められている。</p> <p>平成28年度にスタートした「第6次延岡市長期総合計画（平成28～平成38年度）」では、こうしたまちづくりのグランドデザインとしての役割を担うものとして策定したところである。この中では、高速道路が繋がり「陸の孤島」を脱した延岡新時代において、市民がやりがいを感じながら日々の仕事を楽しむことができ、経済の活気や街のにぎわいと共に自然の豊かさや歴史・文化の厚み、また市民力の高さなどを誇りを持って実感できるまちを目指していくこととしている。なお、本計画における文化遺産総合活用推進事業に関係するものとして以下の事項を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6次延岡市長期総合計画(平成28～37年度) <ul style="list-style-type: none"> 第1部「地域の特色を活かした交流連携のまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> 第6章「歴史・文化を学び育むまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> ①歴史・文化的行事の振興（・地域の伝統文化の振興・市民参加型行事の推進） ②歴史・文化遺産の保護と活用 第4部「豊かな心を育むまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> ③文化活動の推進（・文化活動の充実・文化団体等の育成・文化施設の整備） <p>以上の指針(長期総合計画)を踏まえ、延岡市が掲げる都市像「市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか」“新しい延岡を楽しもう”の実現に向け、「延岡市文化遺産を活かした文化力・市民力・地域力活性化計画」を推進する。</p> <p>延岡市の文化力、地域力、市民力は、健全・旺盛で、強い結束力や行動力があるが、大きな課題として、その活動を支える財政基盤が脆弱であり、構想・企画があっても、その志を実現できないままになっている。さらに、九州で2番目の面積を有する広域自治体として、里、山、川、海といった地域毎に多様な文化遺産が包蔵していることから、事業の展開にあたっては一分野の地域文化遺産に限定したものににならないように配慮し、多彩な地域文化遺産の掘り起しに努めるとともに、地域文化団体が有機的、機能的に結びつき十分に力が発揮できるよう連携指導を行う。</p> <p>このように、様々な地域文化団体に「延岡市文化遺産を活かした文化力・市民力・地域力活性化計画」に公平・平等に参加できるよう推進し地域全体の活性化に努めるために、以下の重点実施文化活動を設定する。</p> <p>《重点実施文化活動 キーワードは“再発見”》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①郷土の歌人若山牧水の顕彰・情報発信・「繁が牧水になったまち」のべおかとしての再発見活動 ②旧延岡藩主内藤家旧蔵の能面を通じた能楽の楽しさ再発見・体験・普及・継承活動 ③石塔など地域の文化遺産の調査・記録・研究・再発見活動 ④地域に受け継がれてきた神輿などの復元・再発見活動 ⑤港町・海の文化・郷土芸能の再発見活動 ⑥伝統のやきものの再発見・復元活動 ⑦地域に残る伝統的建造物再発見・記録・情報発信活動 ⑧地域に伝承する神楽の保存・継承・活動基盤整備活動 ⑨郷土芸能保存・伝承を通じた再発見活動・交流活動・活動基盤整備活動 ⑩伝統工芸品の保存・継承に関する再発見活動・情報発信活動 ⑪語り部活動の継承・地域に伝わる民話・昔話の掘り起し・再発見活動 ⑫我が国の伝統文化を象徴する「華道・茶道・舞踊」等の体験機会の創出・普及・再発見活動 ⑬地域に包蔵する里山文化の掘り起し・体験機会の創出・再発見活動 <p>上記の項目に基づき、この中から申請団体が作成する実施計画との調整を行う。</p>			

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	「郷土師」として地域の魅力を発信する活動者数	関連事業:		郷土師養成講座事業		
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 15 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 20 人					
設定根拠 1 :	「郷土師養成講座」に参加者を対象とし、団体による推定値					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
17 人	人	人	人	人	人	人
40%						
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	ヘリテージマネージャー受講者を対象とした調査・記録マネージメント若しくは補修・改修件数	関連事業:		人材育成研修会・職人塾Ⅲ		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 件					
設定根拠 2 :	ヘリテージマネージャー受講者を対象とし、団体による推定値					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
3 件	件	件	件	件	件	件
30%						
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	城山かぐらまつり、三川内神楽まつり等の行事への入込客数	関連事業:		神楽を通じた地域の活性化事業		
目標値 3 :	【現状値】 平成 27 年度 3,500 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 4,500 人					
設定根拠 3 :	H32年度主要観光施設利用者推計及びH25年度利用実績比 (+19.6%) を参考として、毎年度伸び率約3%と設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
4,000 人	人	人	人	人	人	人
50%						
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	延岡市郷土芸能保存会への新規加入団体数	関連事業:		郷土芸能大会		
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 28 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 30 団体					
設定根拠 4 :	地域の伝統芸能の掘り起し活動による団体試算					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
26 団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体
-100%						

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 5 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 5 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 5 :	延岡市郷土芸能保存会による、各種文化行事や地域間交流等のイベントでの出演回数(自主事業)			関連事業:	郷土芸能大会、神楽を通じた地域の活性化事業	
目標値 5 :	【現状値】 平成 28 年度 7 回 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 15 回					
設定根拠 5 :	団体からの聞き取り調査をもとに設定					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
10 回	回	回	回	回	回	回
38%						
目標区分 6 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 6 :	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 6 :	地域の文化遺産イベント等におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体・個人）			関連事業:	神楽を通じた地域の活性化事業	
目標値 6 :	【現状値】 平成 25 年度 48 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 件					
設定根拠 6 :	ソーシャルキャピタルの動向をもとに団体が試算					
進捗状況 6 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
91 件	件	件	件	件	件	件
60%						
目標区分 7 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 7 :	地域に誇りを感じる住民の割合（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 7 :	権伝馬踊り保存会の会員及び協力者数			関連事業:	権伝馬踊り普及啓発事業	
目標値 7 :	【現状値】 平成 28 年度 61 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 70 人					
設定根拠 7 :	現状の成果をもとに団体による推定値					
進捗状況 7 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
63 人	人	人	人	人	人	人
22%						
目標区分 8 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 8 :	地域に誇りを感じる住民の割合（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 8 :	「伝統的建造物ハザードマップ」等を参考にした防災計画書の作成数			関連事業:	文化財と防災についての講演会	
目標値 8 :	【現状値】 平成 28 年度 0 地区 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 3 地区					
設定根拠 8 :	「伝統的建造物ハザードマップ」を活用した講演会等参加者の関心度から団体が試算					
進捗状況 8 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
0 地区	地区	地区	地区	地区	地区	地区
0%						

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 9 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 9 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 9 :	伝統的建造物の保存と活用をする会の会員数			関連事業:	歴史的建造物のあるくまちあるき	
目標値 9 :	【現状値】 平成 26 年度 12 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 36 (単位)					
設定根拠 9 :	まちあるき参加者の賛同状況をもとに団体が推定					
進捗状況 9 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
18 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
25%						
目標区分 10 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 10 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 10 :	歴史的建造物のまちあるきの案内ボランティアの活動数			関連事業:	歴史的建造物のあるくまちあるき	
目標値 10 :	【現状値】 平成 28 年度 2 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 6 人					
設定根拠 10 :	まちあるき開催に伴う参加者の関心度から団体が独自に試算					
進捗状況 10 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
4 人	人	人	人	人	人	人
50%						
目標区分 11 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 11 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 11 :	三川内神楽祭実行委員会の SNS 上における情報発信の「いいね」の数			関連事業:	桜咲く三川内神楽まつり	
目標値 11 :	【現状値】 平成 28 年度 170 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 250 人					
設定根拠 11 :	団体による試算					
進捗状況 11 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
183 人	人	人	人	人	人	人
16%						
目標区分 12 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 12 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 12 :	桜咲く三川内神楽まつり			関連事業:	桜咲く三川内神楽まつり	
目標値 12 :	【現状値】 平成 27 年度 550 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 650 人					
設定根拠 12 :	H32年度主要観光施設利用者推計及びH25年度利用実績比 (+19.6%) を参考として、毎年度伸び率約3%と設定					
進捗状況 12 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
600 人	人	人	人	人	人	人
50%						

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分13:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分13:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標13:	神楽保存会会員数			関連事業:	神楽の研鑽で明日を作る事業	
目標値13:	【現状値】 平成 25 年度 192 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 250 人					
設定根拠13:	若手の育成及び子ども世代への継承指導実績を踏まえた試算					
進捗状況13:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
229 人						
64%						
目標区分14:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分14:	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標14:	太鼓の利用機会創出に伴う文化活動への市民参加者数			関連事業:	郷土芸能保存伝承支援事業	
目標値14:	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 300 人					
設定根拠14:	現状を踏まえ団体が試算					
進捗状況14:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
150 人						
25%						
目標区分15:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分15:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標15:	松山女性部郷土芸能保存会の新規会員数			関連事業:	郷土芸能用具整備事業	
目標値15:	【現状値】 平成 28 年度 25 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 25 人					
設定根拠15:	高齢化に伴う会員の円滑な世代交代を目指す、地域の人口社会減から現状維持を設定					
進捗状況15:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
26 人						
#DIV/0!						
目標区分16:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分16:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標16:	大武権伝馬踊り保存会の会員数			関連事業:	権伝馬踊り継承事業	
目標値16:	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 60 人					
設定根拠16:	少子高齢化による地域の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況16:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
65 人						
#DIV/0!						

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分17:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分17:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標17:	松山女性部郷土芸能保存会の音頭の担い手数			関連事業:	郷土芸能継承事業	
目標値17:	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 3 人					
設定根拠17:	団体が最重要課題として取り組んでいるもので団体が設定					
進捗状況17:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
2 人						
67%						
目標区分18:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分18:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標18:	三川内地区の地元小中学生を対象とした神楽教室等実施による保存会会員数の維持			関連事業:	神楽後継者育成事業	
目標値18:	【現状値】 平成 28 年度 83 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 87 人					
設定根拠18:						
進捗状況18:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
86 人						
75%						
目標区分19:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分19:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標19:	三川内地区における年中行事(神楽)への来場者数			関連事業:	神楽後継者育成事業	
目標値19:	【現状値】 平成 28 年度 290 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 350 人					
設定根拠19:	団体からの聞き取りによる推定値					
進捗状況19:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
300 人						
17%						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	郷土師養成講座事業					実施団体：	港町大武の文化を伝える会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	大武町や周辺地区の歴史、風習、風土、伝説等の継承活動「郷土師養成講座」を開催し、次世代へ継承する人材の育成。地域の魅力を伝える郷土師を増やし、PR大使として交流人口の増加と文化遺産を活かした地域活性化のモデルとして他地域への広がりを目指す。										
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	ボランティアガイドの後年度の活動者数の維持										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 15 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 20 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
17 人	人	人	人	人	人	40%					
事業②：	人材育成研修会					実施団体：	伝統的建造物の保存と活用をする会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	市内に点在する伝統的建造物の調査、記録や情報の継承がスムーズにできる人材を育てるためのヘリテージ講習会を年2回開催し、調査方法をはじめ調査票や所見の書き方等の研修を行う。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	歴史的建造物の調査・記録、マネージメント等(歴史的建造物の調査・記録・補修・改修に関わったか)										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 件										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
3 件	件	件	件	件	件	30%					
事業③：	神楽を通じた地域の活性化事業					実施団体：	城山神楽祭実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 25 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	地域の文化遺産である「神楽」をキーワードに、「第22回 城山かぐらまつり」の開催、神楽関係の写真を公募で募り写真展を開催し、地域内外に広く情報発信をするとともに、伝統文化の普及啓発に努める。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等(本事業の取組を除く)におけるソーシャルキャピタル数(協賛企業・団体、賛同者等)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	協賛企業/協力団体等/学生等ボランティアの数を増やします。										
目標値：	【現状値】 平成 25 年度 48 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 件										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
91 件	件	件	件	件	件	60%					

事業④： 延岡市郷土芸能大会		実施団体： 延岡市郷土芸能保存会	
事業区分： 普及啓発		事業期間： 平成 29 年度 ～ 平成 32 年度	
事業概要： 郷土芸能関係者が一堂に会する郷土芸能大会を開催している。延岡市外からも団体を招待し、多様な伝統芸能の鑑賞機会を創出するとともに地域間での郷土芸能を通じた交流を深める。			
評価指標区分： ・保存会への新規入会者数		(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標： 延岡市内で埋もれている郷土芸能を掘り起し団体の郷土芸能保存会への加入を促し郷土芸能大会での発表機会創出に繋げる			
目標値： 【現状値】 平成 28 年度 28 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 30 団体			
進捗状況： 各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
26 団体	団体	団体	団体
-100%			
事業⑤： 權伝馬踊り普及啓発事業		実施団体： 港町大武の文化を伝える会	
事業区分： 普及啓発		事業期間： 平成 26 年度 ～ 平成 32 年度	
事業概要： 權伝馬踊りを披露することにより、多くの方にその歴史や魅力をPRする。地域住民や大武町郷土師によるパレード等での協働作業により、地域が一体となった普及啓発に努めるとともに地域住民の郷土愛の醸成を目指す。			
評価指標区分： ・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）		(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標： 各イベント等における賛同者及び協力者数			
目標値： 【現状値】 平成 28 年度 61 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 70 人			
進捗状況： 各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
63 人	人	人	人
22%			
事業⑥： 郷土芸能普及啓発事業		実施団体： 松山女性部郷土芸能保存会	
事業区分： 普及啓発		事業期間： 平成 28 年度 ～ 平成 32 年度	
事業概要： イベント等への参加を活用した新規会員加入を行い、普及啓発・継承に繋いでいく。また、子供団七保存会の指導を継続的に実施し、親世代への参加促進を図るとともに高齢化する会の会員減に歯止めを目指す。			
評価指標区分： ・保存会への新規入会者数		H30年度は自主事業	
具体的な指標： 会員が高齢化が進んでいる為、松山女性部郷土芸能保存会への新規会員勧誘に努め、会員数の安定化を図る			
目標値： 【現状値】 平成 28 年度 25 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 25 人			
進捗状況： 各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
26 人	人	人	人
#DIV/0!			

事業⑦：	文化財と防災についての講演会	実施団体：	伝統的建造物の保存と活用をする会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	平成27年度に作成した「伝統的建造物ハザードマップ」(延岡市地震編①予想震度版、延岡市地震編②急傾斜地崩壊危険度版、延岡市津波編①延岡市街周辺、延岡市津波編②延岡市北部海岸版)を基に説明と講演会の開催する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	「防災計画書」を作成する地区数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 地区 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 3 地区					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 地区	地区	地区	地区	地区	地区	
0%						
事業⑧：	歴史的建造物をまわるまちあるき	実施団体：	伝統的建造物の保存と活用をする会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	平成27年度に作成した「まちあるきららマップ」(①延岡駅らへん、②市役所・城山らへん、③トトロらへん)に従って、広く市民を募集し、まちあるきを開催。同時に案内ボランティアを3名育成。					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等(本事業の取組を除く)におけるソーシャルキャピタル数(協賛企業・団体、賛同者等)					
具体的な指標：	案内ボランティア活動人数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 2 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 6 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
4 人	人	人	人	人	人	
50%						
事業⑨：	桜咲く三川内神楽まつり	実施団体：	三川内の霜月祭を守る会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	三川内地域内にある4集落(歌糸、大井、市尾内、下塚地区)の神楽保存会の若手後継者で結成された実行委員会が主催し、各集落に伝わる神楽16番を各保存会が分担し奉納、披露。地域が一体となり、地域内外に広く情報発信し伝統文化に対する普及啓発を図る。					
評価指標区分：	・その他					
具体的な指標：	三川内神楽祭実行委員会のフェイスブックに対するページ全体の「いいね」数をH32年度末までに250人以上にする					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 170 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 250 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
183 人	人	人	人	人	人	
16%						

事業⑩：	神楽の研鑽で明日を作る事業			実施団体：	城山神楽祭実行委員会	
事業区分：	後継者養成			事業期間：	平成 25 年度 ~ 平成 32 年度	
事業概要：	団体が主導し指導の充実を図る。中堅若手の後継者には、伝承された所作が確実に舞えるか指導。また、構成員相互の交流を図り、若い世代が将来に向けて神楽を継承していける条件整備を進めていく。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	若手の育成及び、子供への確実な継承指導を行い城山神楽祭実行委員会会員数の維持を図る。					
目標値：	【現状値】 平成 25 年度 192 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 195 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
229 人	人	人	人	人	人	人
1233%						
事業⑪：	權伝馬踊り継承事業			実施団体：	港町大武の文化を伝える会	
事業区分：	後継者養成			事業期間：	平成 26 年度 ~ 平成 32 年度	
事業概要：	大武町の住民が継承し続けている港町大武の古き良き姿を今に伝える「權伝馬踊り」を、次世代を担う子ども達に継承する。大武町の歴史や權伝馬踊りを紙芝居や写真でも学び、実技指導では口上の意味についても学ぶ。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	港町大武の文化を伝える会会員数の維持					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 60 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 60 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
65 人	人	人	人	人	人	人
#DIV/0!						
事業⑫：	郷土芸能継承事業			実施団体：	松山女性部郷土芸能保存会	
事業区分：	後継者養成			事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度	
事業概要：	現在、会員間で出来ない分野（音頭）の指導を受け、自前で継承可能な人材を育成するとともに、次世代への継承活動が円滑に行われるよう目指す。また、会員間の練習を絶やさないことで伝統文化の継承の糸が途切れないように努める。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	音頭（松山女性部郷土芸能保存会）が可能となる会員数の創設（高齢化で踊りが難しくなっている会員を中心に「音頭」への転向を目指す）					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 3 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
2 人	人	人	人	人	人	人
67%						

事業⑬：	神楽後継者育成事業			実施団体：	三川内の霜月祭を守る会	
事業区分：	後継者養成			事業期間：	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度	
事業概要：	4地区の保存会（歌糸、大井、市尾内、下塚地区）それぞれにおいて2名の神楽経験者である古 老者を招き、霜月祭開催前（10月～11月）に各地区において神楽伝承活動を行う。これによ り、若手や新規後継者への正確な神楽の継承と技術の向上を図る。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	平成28年度の4地区全体（歌糸、大井、市尾内、下塚）の保存会会員数83名を平成32年度までに 87名とする。					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 83 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 87 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
86 人	人	人	人	人	人	人
75%						